

1. 科目名 (単位数)	心理学研究法 (4 単位)	3. 科目番号	PSMP3143
2. 授業担当教員	高橋 基起		PSMP3122
4. 授業形態	講義・実習・演習(ディスカッションを含む)	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学入門、心理学概論、統計学、心理統計法、心理学基礎実験の全てを履修済みであること。		
7. 講義概要	<p>心理学は、具体的に見ることのできない人の心を対象としていることから、一般の人にも興味を持たれやすい学問であり、身近なもののように思われる。しかし学問としての心理学は実証科学としての性格を持っており、具体的に見ることのできる対象を扱う自然科学の方法論と共通するところが多い。そのため、心理学を研究する際、具体的に見ることのできない心を見えるようにするための工夫が求められることから、人の心という対象を実証科学的に扱う方法は、本質的な難点を伴っている。</p> <p>そこで、本科目では、心理学を科学として研究するための代表的な方法である実験法、調査法、観察法、検査法、面接法等について、それぞれの長所短所の両面、並びに研究における倫理を学び、実践するための質及び量のデータを用いた実証的な思考方法を身につけることを目指す。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的研究方法(量的研究および質的研究)の手順を理解する。 2. 心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できるようになる。 3. 心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、自ら考え、実践できるようになる。 4. 心理学研究における倫理とそれを遵守することの重要性を理解する。 		
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	授業にて課題を課す。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】三浦 麻子, 小島 康生, 平井 啓 (編著)『心理学研究法』ミネルヴァ書房		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 科学としての心理学であることの認識を持ち、実証科学的方法の手順を理解していること 2. 心理学の代表的な研究方法について理解し、自らの言葉で説明できること 3. 心理的な問題をいかに研究に乗せていくかについて、倫理的な問題を含めて、自ら考え、実践できること <p>○評定方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加)30%、グループ発表 30%、試験(小テスト、課題レポート)40%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、ノートやメモを取り、積極的に受講してください。 2. グループワークには主体的に参加してください。 3. 課題は提出期限を守って提出してください。 4. 欠席、遅刻、早退をしてはいけません。やむをえない場合は教員に理由を伝えてください。 		
13. オフィスアワー	別途指示する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスを事前に読んでおく。
		事後学習	気づいたことをまとめる。
第2回	心理学研究法とは	事前学習	心理学における研究のイメージを持っておく。
		事後学習	学んだことをまとめる。
第3回	公認心理師が研究法を学ぶことの意義	事前学習	教科書 pp2-14 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第4回	さまざまな研究法	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 15 のキーワードを確認する。
第5回	研究をするうえで求められる力	事前学習	教科書 pp. 16-27 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第6回	研究デザイン	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 pp. 28-29 のキーワードを確認する。
第7回	研究倫理とリサーチデザイン	事前学習	教科書 p30-42 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第8回	研究を行うものとしての責務	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 43 のキーワードを確認する。
第9回	実験法とは	事前学習	教科書 pp44-54 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第10回	実験計画の選定	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 55 のキーワードを確認する。
第11回	実験の種類	事前学習	教科書 pp. 56-66 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第12回	実験法の注意点	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 67 のキーワードを確認する。
第13回	調査法とは	事前学習	教科書 pp. 68-80 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。

第14回	調査法の可能性	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p81 のキーワードを確認する。
第15回	発展的な調査法	事前学習	教科書 pp82-94 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第16回	より良い調査研究のために	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 95 のキーワードを確認する。
第17回	観察法とは	事前学習	教科書 pp. 96-108 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第18回	観察法を臨床に活かす	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 109 のキーワードを確認する。
第19回	具体的な観察法	事前学習	教科書 p. 110-124 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第20回	観察法と他の研究法の併用	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 125 のキーワードを確認する。
第21回	面接法とは	事前学習	教科書 pp. 126-138 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第22回	面接法の留意点	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 139 のキーワードを確認する。
第23回	介入研究法とは	事前学習	教科書 p140-152 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第24回	介入研究の実際	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 153 のキーワードを確認する。
第25回	バイオマーカーとは	事前学習	教科書 pp. 154-166 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第26回	バイオマーカーを用いた研究の具体例	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 167 のキーワードを確認する。
第27回	心理学論文の書き方	事前学習	教科書 pp. 168-178 を読んでおく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第28回	より良い心理学研究のために	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	教科書 p. 179 のキーワードを確認する。
第29回	現場でできる研究	事前学習	今まで学んだことを復習しておく。
		事後学習	授業内容をまとめる。
第30回	全体のまとめ	事前学習	前の授業を振り返る。
		事後学習	学んだことをまとめる。
期末試験			